

勝山市総合行政審議会（第11期第17回）結果概要

- 開催日時 平成23年9月8日（木） 午後7時～午後9時
- 開催場所 教育会館3階 視聴覚研修室
- 出席者等 出席委員 13名
事務局 企画財政部未来創造課

1. 会長あいさつ

2. 議題

(1) 平成22年度勝山市政策基本目標管理外部評価について

- 4. 環境に配慮した誰もが住みたくなる安全なまちづくり
- 5. 誰もが学び心が通うふれあいのまちづくり

【質疑応答】

市内全家庭における住宅用火災警報器設置 内部評価2 ⇒ 外部評価3 (ノ)

●委員

- ・住宅用火災報知器の設置については、未達成で評価は2となっている。しかし、設置率100%を目指しての57.6%ということは、半分以上は達成できていることになる。平成23年度から設置が義務化された中で、消防団が全戸訪問して市民に周知したにもかかわらずこの現状は消防本部だけに責任があるとはいえない。目標には届いていないが、もっと高い評価ができると思う。

●委員

- ・法定義務化されても住宅用火災報知器が未設置なのは、一般市民にも責任がある。

○事務局

- ・消防団の周知努力の結果、市民の90%は義務化を認識していることがアンケートから分かっている。認識していながら未設置の家が約3割あるのが現状。消防団員の努力を考えると、確かに2という評価は厳しいともいえる。

●委員

- ・住宅用火災警報器を完全設置しようと思うと、かなりの数の警報器を設置する必要がある。勝山市は部屋数がたくさんある家が比較的多いので必要な数も多くなる。目標の数値が完全設置をした住宅だけの率ならば、100%の目標は現実的に厳しい。

●委員

- ・警報器の未設置に対して罰則はなく強制力もない。市民の意識を上げないとこれ以上設置率は上がらない。
- ・家庭訪問する時は、消防団の制服を着用し依頼に歩いているが、それでも聞いてもらえない。

●委員

- ・消防団が警報器の設置をお願いに家庭訪問しても留守宅が多く、後日何度も足を運んでも留守でお会いできない家が多かったと聞いている。

●委員

- ・内部評価は2だが、外部評価は3でよろしいか。

●委員

・異議なし。

●委員

・消防団だけではなく行政としても住宅用火災警報器の周知徹底を図り、市民に対して火災時には自分の身や家族は自分で守るという意識をしっかりと持たせてほしい。

簡易水道の上水道への統合 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

・内部評価は4だが、これでよろしいか

●委員

・異議なし

汚水処理施設接続の促進 内部評価2 ⇒ 外部評価2 (一)

●委員

・本管との接続を同意したうえで汚水処理施設の工事が執行されているのではないのか。

○事務局

・本来であれば義務として接続していただきたいが、工事開始時は接続に同意しながら実際は接続しない家があるのが現状。担当課として粘り強く協力を求めているが目標に届かなかった。
・早くから合併浄化槽を設置しているため農業集落排水への接続は急がないという家や、高齢者世帯のため汚水処理施設に接続しても後に続かないから、お金を出してまで接続しないという家もある。

●委員

・内部評価2だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

市民と行政とが一体となったエコ環境都市実現に向けた活動 内部評価5 ⇒ 外部評価4 (二)

●委員

・レジ袋無料配布中止店舗の拡大について、実現できていない。全部で10項目もの目標を立てていることもあるが、目標の未達成項目がひとつある以上、最高評価はできないのではないか。

●委員

・レジ袋無料配布中止店の拡大は、エコロジーの観点からは理解できる。ただし、店側としては万引きとの見分けがつきにくいためにレジ袋を使っているところもある。趣旨は分かるが、民間企業としてはジレンマがある。

●委員

・レジ袋無料配布中止は、課題の解決も含めて店側の努力が必要である。配布中止店舗を拡大することはエコロジーの観点から悪くないと思う。

●委員

・レジ袋無料配布中止の対象店舗は何店あるのか。

○事務局

・どこまでの規模の店舗を対象とするかは難しい。現在、レジ袋無料配布を中止している4店舗は、地元資本が中心となっている大型店舗。全国展開している大型店では、万引き防止の問題や、系列の他店舗とのバランスの関係上、実現していない。

●委員

・レジ袋無料配布を中止していない店でも、袋を持って行けばポイントをつけてくれるところもあり、そういった制度の利用者も多い。

●委員

・確かに積極的な行動があったかどうかを評価に反映する方法もあるが、今回はそれが見えない。

●委員

・企業と消費者双方に課題はあるが、目標に対して未達成の部分があるため、内部評価は5だが、外部評価は4でよろしいか。

●委員

・異議なし。

○事務局

・三者円卓会議を開催し、企業、消費者、行政がこの課題解決に向けて継続して努力をしている。マイバック持参率も上がってきている。評価には反映されなかったが、水面下の努力は続けていくことはお伝えしたい。

狭い道路の除雪の推進 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

・毎年のように屋根雪降ろしの際に事故が起きる。狭小道路の除雪も大切だが屋根雪に対しても対応策を考えられないか。

○事務局

・雪については総合的な対策が必要で、高齢化が進む中で自助・共助・公助の役割分担を見直し、親雪・利雪も含めた総合的な雪に関する計画の策定作業を始めている。

●委員

・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

第3次定住化促進事業の推進 内部評価3 ⇒ 外部評価3 (一)

●委員

・新たに市外から入ってきた人を対象としているのか。

○事務局

・必ずしも市外から来た人だけを対象としているわけではないが、若い方を対象にしてはいる。
・これまでは新築住宅や中古住宅を新規に取得する場合に補助をしていたが、第3次の改定では2世帯リフォームも補助対象に入れた。
・若い方が市外に出ていくのを防ぐことも目的のひとつにしている。

●委員

・事業を知らない人が多いのではないかと。制度そのものも含めて、他市と比較した利点などのポイントを市民がつかんでいないのではないかと。

○事務局

・広報紙などを活用して一層のPRをしたい。
・業者から情報を得る方も多い。しっかりと制度の周知を図りながら利用していただいている。

●委員

・一般市民は必要がない限りこういった制度に関心が向かない。工事を行う、工務店や建築業者が市民に補助制度を教えてあげることも効果的である。

●委員

・この住宅補助制度は、「今後10年間勝山市に住む」という規定がネックとなっている。もっと気楽な気持ちで勝山に住みたい人もいるが、そういう人は表の数値には出てこない。制度を利用せずに定住している人はもっといると思う。住宅補助が定住促進に繋がっているかは、アンケートを取るなどして検証しないと分からない。

●委員

- ・定住化促進事業補助金の利用者からの声を活かすことも大切。この制度による定住化促進効果は、プラスの要因ではあってもマイナスにはならない。

○事務局

- ・勝山市が行っている定住化促進施策は住宅補助制度だけではなく、他にもさまざまな事業を幅広く実施している。次年度以降は第5次総合計画に沿って、定住化促進施策全体の政策評価をしていただくが、今回は事務事業評価のため個別の評価となる。

●委員

- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

住宅計画に基づく新市営住宅の建設 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

- ・古い市営住宅の取り壊しや入居者の集約はどうなっているのか。

○事務局

- ・努力はしているが、長年住み慣れた住宅および地域から、効率化だけを理由に移転を求めるのは難しい。

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

長尾山総合公園の整備 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

- ・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

都市公園の整備活用計画、弁天緑地公園整備 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

- ・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

「生きる力」を育成する教育の推進 内部評価3 ⇒ 外部評価3 (一)

●委員

- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

学校等耐震工事の推進 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

- ・いつ震災が起こるか分からない現在の状況を念頭に置きながら耐震化に取り組んでいるのか。

○事務局

- ・国の補助事業等を積極的に受けながら、少しでも事業の前倒しができるように努力している。

●委員

- ・評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

小・中学校の再編 内部評価 4 ⇒ 外部評価 5 (ア)

●委員

- ・目標を達成しているのに評価が4なのはなぜか。

●委員

- ・平成22年度の状況と比べて、現在はトーンダウンしているように感じる。

○事務局

- ・少子化を迎える中で議論しにくい小中学校の再編について、市としての素案を市民に示した。何度も現状を説明し、市民とキャッチボールをしながら、現在も継続して議論している。

●委員

- ・小中学校のPTAの中では話がされているようだが、再編を考えた場合、幼稚園や保育園にも話をしてほしい。現在小中学校の子どもを抱えている親は、再編の当事者とならない場合も多く、真剣に考えない部分もあるように感じる。

○事務局

- ・平成22年度に開催した小学校区ごとの説明会では、未就学児童の保護者についても対象にしており、今後もそのスタンスを継続していく。

●委員

- ・市民の声を十分に聞き、第5次勝山市総合計画の中で再編の進め方を明確にしているので、内部評価は4だが、外部評価は5でよろしいか。

●委員

- ・異議なし。

次世代育成アクションプラン 内部評価 3 ⇒ 外部評価 3 (一)

●委員

- ・次世代育成推進委員会は各地区で活動しているはずだが、具体的な動きが全く見えない地区もある。

○事務局

- ・目標設定が抽象的なため成果を示しにくいのは事実。ただ、各地区では何度も議論を重ねて、実践活動を行っている。
- ・第5次勝山市総合計画では、「かつやま子ども応援ネットワーク」の活動を通して、次世代育成アクションプランが目指してきた理想の実現に向けて、継続して取り組んでいく。

●委員

- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

男女共同参画社会の実現 内部評価 3 ⇒ 外部評価 3 (一)

●委員

- ・企業支援制度とは具体的にどのようなものか。

○事務局

- ・男女共同参画について、地域と家庭における問題の解決は、行政として比較的取り組みやすい。しかし、企業は営利を目的としていることから、お願いするだけでは男女共同参画が進まない部分がある。出産に伴う休暇制度や職場復帰制度など、働く女性への支援を行う企業をサポートできる計画を作りたかったが、勝山市単体では踏み込めず、制度設計までは至らなかった。

・制度設計については今後も継続して検討していく。

●委員

・のぞみサポーターとは何か。

○事務局

・男女共同参画の推進を目的とする勝山市男女共同ネットワークは、市内各種団体から選出されたメンバーで構成されている。そのため、毎年、メンバーの大幅な変更があり、継続的活動ができないことが課題として挙げられていた。そこで、平成23年度から前年度までのメンバーの参加を想定し募集した個人会員のことを「のぞみサポーター」と称している。

●委員

・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

新体育館建設に向けての取組み 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

・新体育館の場所は、南部中学校のグラウンドで建設したいという話があったのではないか。

○事務局

・あり方検討委員会の報告書の中では建設場所について触れていない。しかし、市としては小中学校の再編と一体的な解決を目指す中で、南部中学校に建設する素案を提示した。その後の市民との議論の中で、新体育館の建設は小中学校の再編とは切り離して考えることとして、南部中学校での建設を6月に断念した。6月議会においては、9月議会で建設場所を明確にすることをお伝えした。

●委員

・目標は達成している。

●委員

・平成30年福井国体でのバドミントン競技の誘致実現に向けて、新体育館の建設場所や機能などを市民に1日でも早く示してほしい。

○事務局

・10月4日に予定している「市長となんでも語ろう会」では、新体育館の建設について市長からお伝えする予定。

●委員

・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし。

食育の推進 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

・地場産給食における食材の総使用量に占める地場食材の使用量の割合が減った理由は何か。
・もっと評価しやすい目標設定をすべきではないのか。

○事務局

・現時点では、理由の調査は充分できていない。分析をしながら来年度以降の推進に活かしていきたい。

●委員

・食育の推進の中でマイバック普及率は関係あるのか。

○事務局

- ・食や環境に関する意識啓発の観点で、子どもたちが食材を買いに行くことや、マイバッグを活用することも食育の一端と考える。

●委員

- ・食育ボランティア団体数は、平成24年度までの目標をすでに平成22年度に達成している。今後は個人だけを増やすということか。

○事務局

- ・団体の中の個人数の増加ではなく、団体とは別に個人参加のボランティアを増やしていきたい。

●委員

- ・設定している目標が県の目標と一緒。

●委員

- ・総重量に占める地場産食材の割合を目標設定にするというのは無理があるのではないか。牛乳も含めると、かなりの割合を牛乳が占めてしまう。

●委員

- ・勝山市は米どころなので、主食をパンではなくご飯にすれば達成できるのではないか。

●委員

- ・米は地元の農家から持っていったいない。販売所から購入するとほとんど勝山産ではない。野菜は地元が持っていったいると思う。

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

●委員

- ・県の目標でなく自治体にあった目標、適切な目標を設定していただきたい。

史跡白山平泉寺旧境内整備事業の推進（白山平泉寺の発掘地とガイダンス施設整備）、世界遺産登録に向けての取り組み 内部評価4 ⇒ 外部評価4（－）

●委員

- ・白山文化フォーラム等への参加者は毎回、ほとんど同じ方が多い。

●委員

- ・白山文化フォーラムは、勝山市だけで開催しているのか。

○事務局

- ・共に世界遺産登録を目指す、石川県、岐阜県でも開催しているが、勝山市では毎年継続して開催している。

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

国重要文化財旧木下家住宅の修繕と管理活用 内部評価5 ⇒ 外部評価5（↑）

●委員

- ・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

以上